



カリオン

Vol. 20



2013年7月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤 四三
編集責任者 事務部長 船曳 健次
〒670-0063 姫路市下手野 1-12-2
TEL/FAX 079 (299) 0052 (直通)

115回生42名の新入生を迎えて



今年4月9日姫路赤十字看護専門学校は115回生42名の新入生を迎えることができました。1月に完成した新管理棟の大会議室で、姫路赤十字看護専門学校同窓会から寄贈されたピアノの奏でる音のもと、厳かに入学式が行われました。私も4月に学校長に就任したばかりです。すべてが新しい中で私たちは学生を迎えることができました。

これから日本は超高齢化社会に突き進んでいくこととなります。今後ますます看護師の活躍する場は広がります。赤十字社の基本理念は「人道」であり、本校はこの「人道」を理解して看護師として活動できるよう育成しています。これまで赤十字の看護教育を受けた先輩達は「患者への思いやりが最も大切なことである」という文化を創り上げてきています。赤十字精神に基づいた看護が地域住民に受け入れられ、赤十字をブランドとして育て上げてきました。このため本校で学んだ卒業生は、看護師をはじめ、保健師・助産師として自らの専門職を通して、多方面で指導的な立場となり活躍されています。これから3年間多くの仲間をつくり、楽しい学生生活を送りながら、看護学、赤十字の基本理念を学び、社会で活躍できる看護師に成長していただくことを期待いたします。

(学校長：佐藤 四三)

平成25年 前期行事予定

- 4月** 9日(火) 入学式
12日(金) 新入生歓迎会
4月～6月 クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅰ
30日(火)～5月2日(木) 保健週間
- 5月** 10日(金) ナイチンゲール祭
14日(火) クラスⅠ 兵庫県支部訪問
- 6月** 10日(月)～25日(火) クラスⅡ 成人看護学実習Ⅰ

- 7月** 5日(金)～7日(日) クラスⅡ 本社研修・レクリエーション
25日(木)～8月27日(火) 全クラス 夏季休業
- 8月** オープンキャンパス
- 9月** 2日(月) クラスⅢ ケースレポート発表
6日(金) 球技大会
17日(火)～30日(月) 期末試験

姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

湯浅学校長退任



湯浅志郎先生が平成25年3月31日に退任されました。5年間学校長として学校教育に尽力され、在任中には看護専門学校創立100周年の記念行事もありました。学生のメンタルヘルスの重要性から、学生が直接相談できるシステムの構築に取り組まれるなど、親身に考えてくださいました。

学生たちからも親しまれ、学期最後の日、学生自治会より花束と色紙が贈られました。「新入生歓迎会やトレーニングセンター等、様々な行事に参加していただき、気にかけてもらって嬉しかったです。」と、自治会長が挨拶しました。

勉強家で病院でも看護学校でも図書室がお気に入りの場所でした。学生も図書室で学校長の姿がみられなくなるのが寂しいようです。



(花束贈呈)

第102回看護師国家試験全員合格



3月8日、保護者・来賓・職員の見守る中、湯浅志郎学校長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。列席の保護者の皆様もわが子の凛とした姿を静かに見ておられ、感慨深さが伝わってきました。



3月25日には、第102回看護師国家試験の合格発表があり、当校は今年も全員合格することができました。卒業生36名は、就職や進学とそれぞれの道を歩んでいます。看護という仕事は、技術だけでなく「心の豊かさ」と「人間らしさ」が求められます。1年先も10年先も、今と変わらないまっすぐな心で患者様と向き合っていることを願っています。

卒業生から一言

専門学校での3年間は大変でしたが、同じ夢に向かっている同級生や先生に支えられ、乗り越えることができました。病院での実習で一人の患者さんを受け持って看護を考えたこと、実習メンバーと共に複数の患者さんに対して看護を实践したことはとてもいい経験となっています。

(平成24年度卒業生 姫路赤十字病院 5階東病棟勤務)



就職してから約2ヵ月がたち、病棟の雰囲気にも慣れ、少しずつ自分の出来ることが増えてきました。慌ただしく1日が過ぎてしまう日もありますが、そんな中でも患者さんと関わる時間は楽しく、笑顔を見ると嬉しくなります。1日でも早く自立できるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

(平成24年度卒業生 姫路赤十字病院 5階西病棟勤務)



「私と看護」 佳作入選

「看護の実践哲学」の一環で、卒業生全員が「第4回全国看護学生作文コンクール」に応募しました。全国から集まった1300通を超える応募作品の中から、3名が佳作に入賞しました。3名とも、臨地実習や講義での学びを素直に伝えています。

○田路倫子さん

「私が看護の力を感じた時」

○前川絵理さん

「私の看護」

○金輪真以子さん

「看護師として次にかすこと」

入賞おめでとうございます。

2年生になって 114回生

この学校に入学して早くも1年が経過しました。今でこそ学校生活に慣れましたが、初めは新しい環境・生活に戸惑いと不安を感じていました。しかし、専門的な講義や病棟での実習、行事や委員会で忙しい日々が待ち受けており、気が付けばあっという間に過ぎた1年だったように思います。

2年生は委員会や各行事で中心となる学年です。3年生と1年生の繋ぎ役を担っているだけでなく、これから先に必要とされるリーダーシップや判断力・行動力等を養い、責任の重さを学ぶことができる1年でもあると考えています。よりよい学校生活を送ることができるよう“the best”の精神で頑張っていきたいと思っています。



3年生になって 113回生

私たち113回生は4月から3年生になりました。領域別実習では、それぞれ違う病棟で学ばせていただいています。対象である患者さんの理解や、難しい疾患の理解、個別性に合わせた看護技術など、日々患者さんにとっていい看護ができるように考え、精一杯取り組んでいます。

そんな私たちには、来年の2月に看護師国家試験が待っています。一人一人が責任を持って学生生活を送り、全員合格という目標を叶えられるようにこれからも頑張っていけます！



驚きシリーズ!!

～その1～

教科書の多さ！



教科書が届いたときは、まず多さと重さに驚きました。看護の勉強は大変と聞いていましたが、改めてそう感じました。
でも、自分の夢に近づいていると思い、勉強することにとってもわくわくしました。あれから2ヶ月、まだまだ慣れないことがたくさんありますが、初心を忘れず頑張っていきたいと思います。
(クラスⅠ)

～その3～

42人の仲の良さと団決力！



115回生はみんな仲良くとても楽しいクラスだと思います。すごく元気で明るい人たちがばかりです。その反面授業と休み時間とのメリハリがつけられないのでこれからはメリハリをつけて楽しく明るいクラスになればいいと思います。
(クラスⅠ)

～その2～ 新入生歓迎会！

入学してから初めての学校行事でした。とても緊張していましたが、先輩方から声を掛けて下さり、優しい気遣いに安心でき、とても嬉しかったです。ゲームに夢中になるにつれ少しずつ緊張も解けて先輩方やまだあまり話したことがないクラスメイトと一緒に過ごす時間がとても楽しいと思いました。
(クラスⅠ)

先輩方が優しく緊張がほぐれました。私たちのために一生懸命計画してくださったのが伝わってきてうれしかったです。来年は私たちが企画する番なので、先輩たちがしていたことをしっかりと覚えていきたいと思います。ドッジボールは久しぶりに体を動かせて、いい運動にもなり、みんなと話せて楽しめました。
(クラスⅠ)



ドッジボールがとっても楽しかった!!
1年生、3年生の人たちと、みんな仲良くなれて、よかったです。
(クラスⅠ)

正直なところ、新入生歓迎会が始まる前はやりたくない気持ちでいっぱいでした。話したことがある人も少なく、ドッジボール以外に何をするのかも分からず、ドッジボールも10年振りぐらいにするため不安しかなかったです。しかし、始めてみると、先輩方が考えて下さったゲームはとても盛り上がりました。ドッジボールは予想通りどうしようもなかったですが、上級生との交流もでき、充実した1日になりました。
(クラスⅠ)

拝啓、お元気ですか。

～一人暮らしをしている学生からのメッセージ～

お父さん、お母さん、おじいちゃん元気ですか？私は素敵な友達に囲まれて、忙しくても楽しい毎日を過ごしています。洗濯は5日に1回です。お父さん、お母さん、おじいちゃんの手料理が、かなり恋しいです。夏帰ったときは、おじいちゃんのトマトをお腹いっぱい食べさせて下さい。たくさん土産話を持って帰るので楽しみに待ってね。
(クラスⅠ)



一人暮らしを始めて約1年が過ぎました。自分での有難みを感じています。仕送りは、日々家族で、野菜などがはいってたりしてやっぱり家で野菜は美味しいと思いながら食べています。段ボールに詰めてくれる祖母の様子が何となく想像できて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また帰った時はおばあちゃんの料理が食べたいです。最後に家族へ、いつもありがとう。
(クラスⅡ)



一人暮らしをはじめて、もうすぐ2ヶ月が過ぎます。学校にも慣れ、同じ夢をもつ仲間や素敵な先輩方に囲まれて、充実した毎日を送っています。思っていた以上に家事は大変で、毎朝お弁当をつくる時に、親への感謝を改めて実感しています(笑)。これからも一生懸命勉学に励み、笑顔のたえない立派な看護師になれるように頑張ります。
(クラスⅠ)



実家を離れての生活は家の事も自分でしなければいけないので、勉強・実習との両立が難しいときもあります。計画的に行ったり、友達と遊んで息抜きしたりと、充実した学生生活を送っています。これからも頑張ります。
(クラスⅢ)



敬具

～その4～ 感動のナイチンゲール祭！



初めてのナイチンゲール祭で、内容や練習方法など、よく分からず不安もあったけど、委員を中心に先輩方が教えてくださって困ることもなく練習に取り組みました。練習時間を守れなくて、迷惑をかけてしまったことが反省点です。朝早くや昼休み、放課後に練習したりと大変だったけど練習していくうちに、本番が楽しみになり頑張れたし、楽しかったです。

(クラスⅠ)



ナイチンゲール祭は予想以上に感動する行事でした。歌を歌っていると患者さんがたくさん出て来られて、一緒に歌を歌ったり、車いすで移動が大変そうな方まで見ていて下さって本当に感動しました。自分が人の心を明るくしていると感ずることができて本当にうれしかったです。小児病棟でもたくさんの子供たちの笑顔を見ることができました。この学校に入学し、ナイチンゲール祭に参加できてよかったです。

(クラスⅠ)



～その5～

支部訪問!!

私が支部訪問で1番印象に残ったのは、石巻赤十字看護専門学校の学生の震災時のVTRです。誰も想像もしなかった突然の地震に、自分や家族の事よりも周りにいるお年寄りの方やケガをしている方のことを思い看護学生として動く姿を見て、私も同じ立場にあるのだなと思いました。VTRを見終わったあと、友達と交わす言葉の中に「もっと頑張らなあかん、一緒に頑張ろう。」と自然に出てきました。震災が起こることは悲しいことだけど、そこからどう向き合っていくかは、私たちにかかっているのではないかと思います。

(クラスⅠ)

支部訪問で血液センターの見学をしました。赤血球、血しょう、血小板を初めて見たり、保存方法もそれぞれ違うことなど多くの事を学びました。また、赤十字のことについて深く知ることでもできて今まで以上に赤十字のもとで看護を学ぶことに誇りと嬉しさを感じました。

(クラスⅠ)



阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」へ行きました。再現VTRを見て、言葉が出てきませんでした。改めて、自分たちが産まれた年に起こった悲慘な出来事を忘れてはならないと思いました。自然災害を止めることはできないけれど、減災することはできると思います。防災グッズをそろえたり、家具の置き場所を考えたり、そして看護学生として何かできることはないかということを普段から考えておきたいと思いました。

(クラスⅠ)

初めて「人と防災未来センター」を訪れて、阪神淡路大震災の再現VTRや復興までの道のりの展示を見て、被害の大きさを改めて知ったと同時に地震の怖さを実感した。「地震は怖い」で終わらず、阪神淡路大震災を知らない世代に伝えていくこと、そして災害に備えることによって、被害を少なくすることが大切だと感じた。

(クラスⅠ)



～その6～

初めての實習!!

初めての實習がこんなにも早くあるとは思っていませんでした。知識もなく、私服で患者さんと関わるため、不安も多くありました。今回の實習では、約1日患者さんのベッドサイドで、お話を聞くことだけでしたが、「何を話せばいいのだろう」「患者さんはどんな人だろう」とクラスのみんなでドキドキしていましたが、実際に實習が終わると、「すごく楽しかった」「色々なお話を聞けた」とみんな笑顔で帰ってきました。私自身も思っていた以上にお話しが出来て、すごく安心しました。初めての實習で、たくさんの事を学びました。この経験をこれからの實習、講義で生かしたいと思いました。

(クラスⅠ)



次回の實習は5月末～6月、2月!!
頑張ろう (^O^)!!

男子の部

アドレス帳に
女子の数が多くなる



うわあ…

最初女子の名前を覚えるのが大変



美人な先輩がいっぱい!!

番外編

“看護学生あるある”

- ①GWはゴールデンウィークではなくグループワークである。
- ②KGは関学ではなく看護学生。
- ③答えのないものを考え続ける。

講師紹介



長年の高校教師で培った経験が一助となればと思い、『生活と環境』と『生活行動からみたからだ-2』を担当させていただいています。

若人は、夢を描いて力強く歩いていくところに美しさがあります。辛苦に耐える強さとともに痛みのわかる温かい心を備えた看護師になられることを願っています。目指す頂に向かって、希望の灯を燃やし続け、計画的に一步一步着実に進んでいってください。

(講師：立花 誠一郎)

検査技術部が担当している講義は、1学年で感染症と微生物・臨床生化学、2学年で治療論-2の臨床検査部門です。幅広い知識の修得が必要な看護師を目指す皆さんにとって臨床検査関連の履修だけでも容易ではありませんが、それぞれの学問は他の学問と密接に関連しています。頭の中だけで理解するのではなく、実習や体験を通して関連付けて習得してください。病院探索の時のように、解らないときは検査室に入ってスタッフに尋ねて体感してもらえればと思っています。

(姫路赤十字病院 検査技術部 技師長：山本 繁秀)



左から 臨床生化学・永谷達也、
感染症と微生物・山本繁秀・大石博一



臨地実習でお世話になる姫路赤十字病院の各部署を順番に紹介します！
スタートは要となる看護部からです。

看護部紹介



看護部は、看護部長、副部長、教育専従師長、事務職員の合計8名で働いています。長年先輩方が築いてこられた看護の実績が、地域住民の方々からの赤十字病院の看護師への信頼と期待につながっています。現場は医療の高度化と在院日数の短縮で、看護師は毎日必死です。私たちは、現場で働く看護職員がワークライフバランスを大切に、働きやすく、看護のやりがいを感じられるような環境を整えるよう努力しています。

24年度 学校評価

「日本赤十字社 学校評価ガイドライン」に基づき、特色ある看護教育の充実と教育水準の向上を目指し、毎年学校評価を実施しています。又、平成24年度は、学校関係者評価として、保護者役員のご意見を聞く機会を持つことができました。ご協力ありがとうございました。

平成24年度に改善できた点は、「Ⅳ：教授・学習・評価過程」で、初めて全講師を対象とした講師会議を開催したこと、「Ⅴ：経営・管理過程」で、メンタルヘルスの専門家の配置、相談室の整備ができたことです。学生が教師を通さず、直接メンタルヘルスの相談を申し込むシステムが導入されました。

詳しくは、本校ホームページでご覧ください。

(副学校長：柳 めぐみ)

	H24	H23
I 教育理念・教育目的	3.0	3.0
II 教育目標	3.0	3.0
III 教育課程の経営	2.9	2.9
IV 教授・学習・評価過程	3.0	3.0
V 経営・管理過程	2.9	2.9
VI 入学	3.0	3.0
VII 卒業・就業・進学	3.0	3.0
VIII 地域社会・国際交流	2.9	3.0
IX 研究	2.6	2.6
平均	2.9	2.9

各カテゴリーの平均値

(3段階評価 3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない)

職員紹介



柳 めぐみ 副学校長

播磨地域の南部では今が田植えの季節です、梅雨の始まりとぴったりとし、昭和の風景と季節感を感じさせます。お米づくりは、土づくりから始まり、苗代、田植え、稲刈り・脱穀、精米と多くの過程を得て、白米として食卓にたどりつきます。

学生の皆さんに喩えると、田植えまでが一年生？で、脱穀が卒業時期？食卓に上るようになって看護師として一人前？ 専門職として高度な知識も必要ですが、地域社会と会話できる雑学も必要です、焦らずに勉学に励んでください。

佐藤四三学校長が就任されました。新しく内海先生、学校初の男性教師の藤後先生を迎え、山田教務主任、松井実習調整者と新体制でのスタートです。

本校は、「体験から学ぶ」ことを大切に、「自分で考え行動する」看護師の育成を目指しています。そのためには、自ら飛び込む勇気が必要です。私自身は看護学生時代、引っ込み思案で、看護技術も不器用でした。失敗を恐れ、体験が少なかったことが今から思うと悔やまれます。臨地実習や演習での体験を大切に、リフレクションを行い、ともに学んでいきましょう。



船曳 健次 事務部長



山田 道代 教務主任
統合分野

「コミュニケーション」の講義を担当しています。人が人間として成長していくためには、他者の存在が必要であり、コミュニケーションは、生きていくために必要不可欠な要素になります。またコミュニケーション技術は看護実践の基盤ともなります。講義・実習を通して、学生に自己理解・他者理解の重要性を伝えています。私自身も学生や周囲の人たちとの関係性を大事にしながら、成長していければと考えています。



松井 里美
精神看護学(実習調整者)



名村 かよみ
在宅看護論



藤田 美佐子
老年看護学



藤元 由起子
成人看護学



井上 恵実
老年看護学



西谷 由子
母性看護学



中島 啓子
基礎看護学



中林 朝香
成人看護学



内海 尚美
小児看護学



藤後 栄一
精神看護学



森下 裕子
事務係長



中嶋 和美
事務



第5回 病院フェスタ開催

病院100周年を記念して開催されるようになった病院フェスタが今年も5月11日(土)に開催されました。多くの参加者の中には、毎年楽しみにしてくださっている方も多く、励みになっています。

オープンキャンパスのお知らせ

日 程	時 間	定 員
8月3日(土)	14:00~16:00	40名
8月5日(月)	10:00~12:00 14:00~16:00	各40名
8月6日(火)	10:00~12:00 14:00~16:00	各40名
10月27日(日)	14:00~16:00	40名
開 催 場 所	姫路赤十字看護専門学校	

【お問合せ】

電話予約、お問い合わせは下記までお願いします。

TEL/FAX 079-299-0052

【注意事項】

※当日、午前7時の時点、それ以降に【兵庫県姫路市】に暴風警報・大雨警報・洪水警報のうち2つ以上に発令されている場合は中止いたします。途中、解除になっても実施しません。

退任のご挨拶

病院と学校勤務、合わせて44年間お世話になりましたが、この4月末に退職しました。本当に長い間、ありがとうございました。

退職後はのんびりする暇もなく、在職中から続けていた手話関係のボランティア等で日々忙しくしています。(元 事務職員：尾形 治美)



6月12日

クラスI対象に手話を教えていただきました。

講師：八木さん



「箱根空木 (ハコネウツギ)」

箱根空木は、初夏、白や淡紅色、紅色の小花を同じ木に咲かせる落葉低木です。

一本の木や枝に、赤花と白花をつけることから、源氏の白旗、平家の赤旗をもじって、源平空木とも呼ばれています。咲き始めは白で、その後、淡紅色、紅色と花の色が濃くなります。

(専任教師：藤元 由起子)



編集後記

佐藤学校長を迎え、新年度をスタートして早3か月が経過しました。

今年度もカリオンをより多くの方に読んでいただき、学校生活についてご理解いただける内容にするために、学生とともに編集委員一同さらには、学校をあげて努力していく所存です。学生の発想は柔軟で目を見張るものがあります。お互い刺激し合って、高みを目指したい。

(専任教師：名村 かよみ)

